

STUDIO Daikokuten

大黒天

ドM魔導士たちが屈辱を味わいながらも感じてしまい、お尻の穴まで晒して、サーモンを受け止める！

妖精の

マゾの快楽に酔い痴れる美少女たち！

○○○!


















ご主人様がジユビアに  
コート脱ぐように命じます





ジュビアの瑞々しい肉体は  
縄できつく縛られています  
毎日 自分で結っているんです  
乳首には奴隷の証が光っています

妖精の尻尾のみんなの前では  
何食わぬ顔で笑いながら  
コートの内側では淫らにマゾ酔いし  
淫欲に打ち震えているんです



ご主人様がジユビアの縄をほどきます  
大好きな緊縛を解かれて

あたしは少し残念そうな瞳で見上げました

でもジユビアわかってます

パイズリに縄は邪魔なんです

縄を外されると

ジユビアの柔肌には縄の跡がクツキリと残り


妖艶さを増しているように見えます

残酷にもピアスを連結させられると  
パイズリ専用奴隷ができあがる



ご主人様のペニスを胸に挟むと乳首が  
強く引っ張られる  
さすがのあたしも思わず悲鳴をあげてしまいました



A blue-haired anime girl with long, wavy hair is shown from the chest up. She has a large, erect penis in her mouth, which is partially obscured by a large, semi-transparent red rectangle. She has a blushing expression and her eyes are closed. The background is a soft-focus outdoor scene with green foliage and a stone well.

ご主人様のペニスを必死にしごく  
ピアスが乳首を刺激し固くしこってくる  
ああ・・・気持ちいい・・・♡  
もっと・・・もっと強く

パイズリしているだけで絶頂ってしまいそうです  
ご主人様も気持ちいいですか・・・？




シャワー

んあっ♡

ご主人様がジユビアのおっぱいで  
射精してくれました  
あたしは顔も口内も  
精液でいっぱいにして恍惚となる

ああ・・・美味しい♡  
乳首もじんじんして脳がとろけそう・・・





ご主人様のペニスは射精しても  
まったく萎えません  
ジュービアのカラダをまだまだ求めて下さっています  
うれしい・・・♡

ご主人様・・・  
もう一度ジュービアを縛りなおして  
縄でいっぱいお仕置きして・・・ください・・・♡



お仕置きでございますか？  
ご主人様









あ♡

あ♡♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

× イ♡♡



ジ  
ッ  
ッ  
ッ

ジ  
ッ  
ッ  
ッ

ジ  
ッ  
ッ  
ッ

ジ  
ッ  
ッ  
ッ















う。。。ん。。。

エルザのお回の中 精液がいらっばら♡

はああああ 精液いり。。。♡

はあ♡

はあ♡

ルーシィ。。。だつて。。。♡

顔。。。も 回の中も。。。♡

精液だらけで んふう。。。!!

美味しい。。。♡

うふふ

ミラ姉…今日もキレイ

リサーナ

お願い…ちゅめて…!!

ダメよ ミラ姉

昔あたしをこんな娘に仕込んだのは姉さんじゃない

あの頃の姉さんが教えてくれたこと

あたしちゅちゅめと覚えてるんだよ





ほら見てH...

このHネマはね 先が2つにわかれてるの

ふたりで一緒に流腸のお仕置きを味わえるのよ

ひっ...ひひひひ

うー

あ

うん

あ...ひひひひ

あ



「姉をきゅっ♡おっしませたい」

リサーナは容赦なく何度もポンプを握り

大量の淫腸液を二人の腸内へ流し込んだ

くっくっく……

リサーナ……ああ……ああ……

もう……もう許して……

ダメよー！

もう少いでバケツの中身が全部入りきるわ

我慢するのオカシク姉

んっんっん





わあ これながらが楽しみよ

リサーナはエネマを抜き取ると

すぼやく透明のパイプをふたつの肛門に差し込んだ

ひびく……!

なにっ これえ……っ!

「リサーナさん、お尻が気持ちいい」

「あ、ごめん、お尻の肛門、こぼれちゃった……っ♡」

「ハハハハ……」





リサーナは一足先に解放され

排泄の快感を楽しんだ

しかし 排泄器官同士を連結されている

やじく(ア)おは...

う...う...うぎー

こんな感じで...はあああ!

あはは

あたしのうんちが肛門の中に入るとさ

美味しいぞじゅっ?

可愛い妹のウンチ いっぱい受け取ってH...♡



ダメ……くっすくす

あああああああー

ただひたすらくっつくだけ

リサーナの糞便まで引き寄せたりはするからさあ、リジューメンだったが

連結パイプは一方通行なわけではない

リジューメンがらきおやタミの中で溜っていた味々の排泄物が

油断しているリサーナのほうへも流れ込む

ああああー き……きたあ……ああ

リリ姉があたしの中に来るっ!!

ああああ……をを♡

あたしのくっつきも一緒にっ!

ミキミキ

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

あああああ





何度も何度もふたりの体内を行き来するのじゃぞ

固形物はほとんど原型を残さないほどに攪拌されていた

特殊な浣腸液と混じって粘液の塊になったやれは

直腸の内壁を撫でながら一気に噴出した

お！おおおおをを♡

イクっ！うんちが種がういて

ケツがクメして♡

リ……リサーナあめ……

あたしも……肛門イキしちゃっつうっ！

ああああん！



まじっ……これならは勝手にいつかじさちゃダメや

みんなのせい あだつが支配してあげな

は……い

まじっ……いい子や

……いさや覚えたらみんなアナルマンに一直線だまの

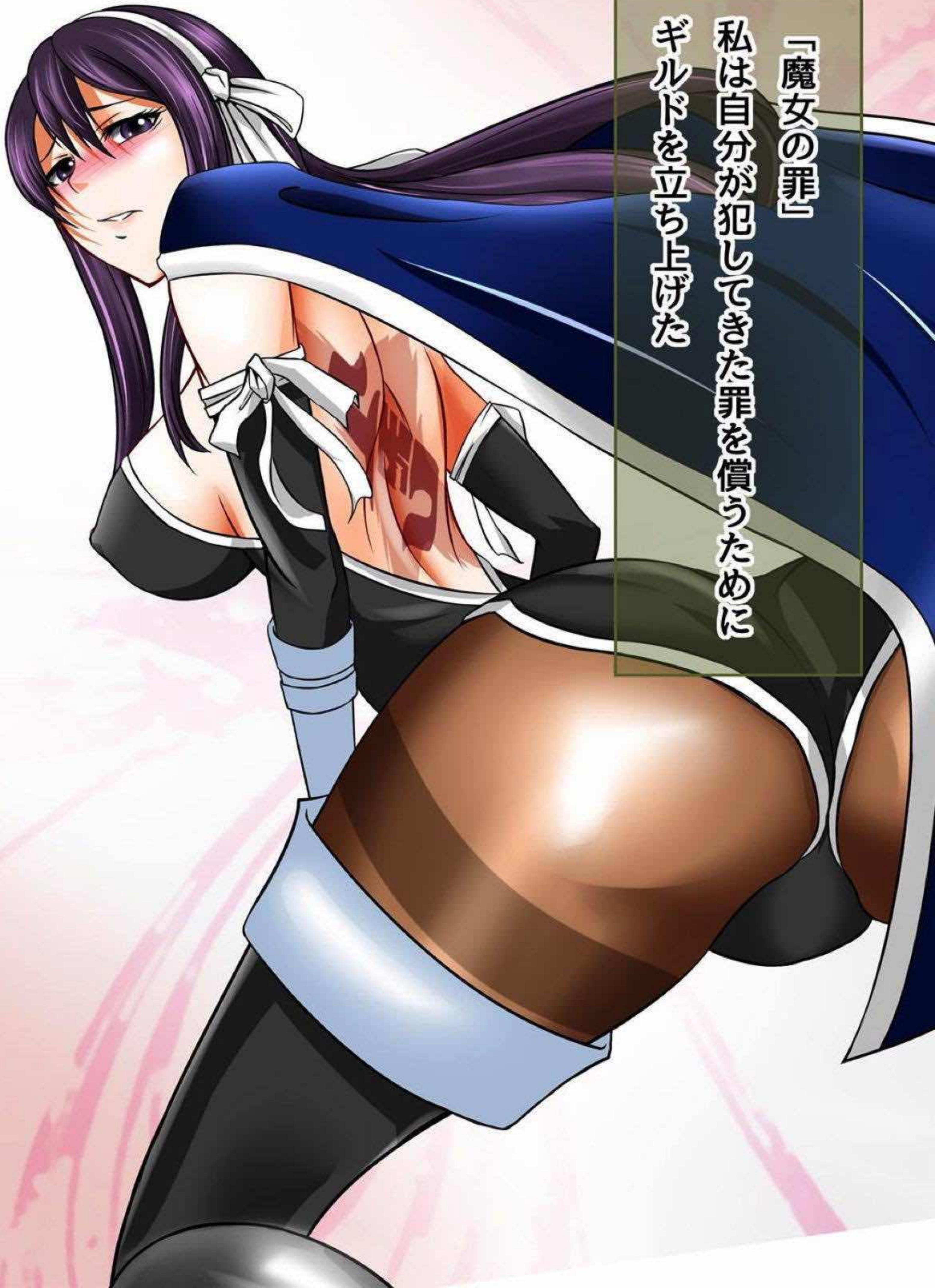
あだつが責任持ったの振アナルジャンキー……あだつな

わあ あだつがアナルマンやんやん時分

リサーナ……様……♡

「魔女の罪」

私は自分が犯してきた罪を償うために  
ギルドを立ち上げた







でも。。。。

男たちが私に求めた罪の代償は

私の。。。。カラダだった。。。。

男たちに囲まれ、脱ぐように命じられた私に  
逆らうことはできない……  
それが償いならば……



男の隆起したペニスが私を貫く

瞬間、頭の芯が焼け付くように痺れる

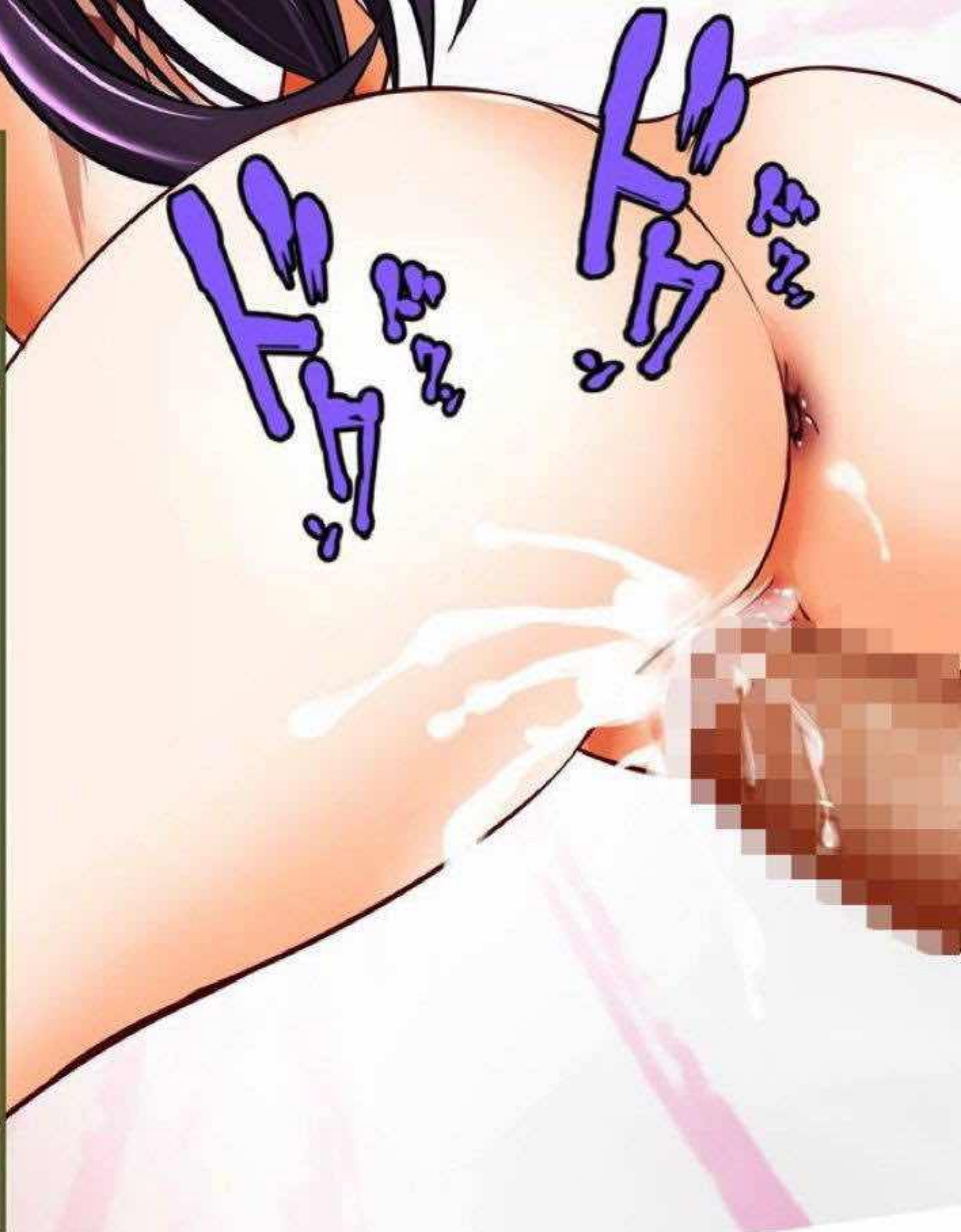
あきらかに女の反応を示してしまった私のカラダを  
いやらしい男たちの視線が嘗め回す

ズ  
ン  
ッ





男の熱い欲望がほとばしり  
精液が私の中に流れ込んだ

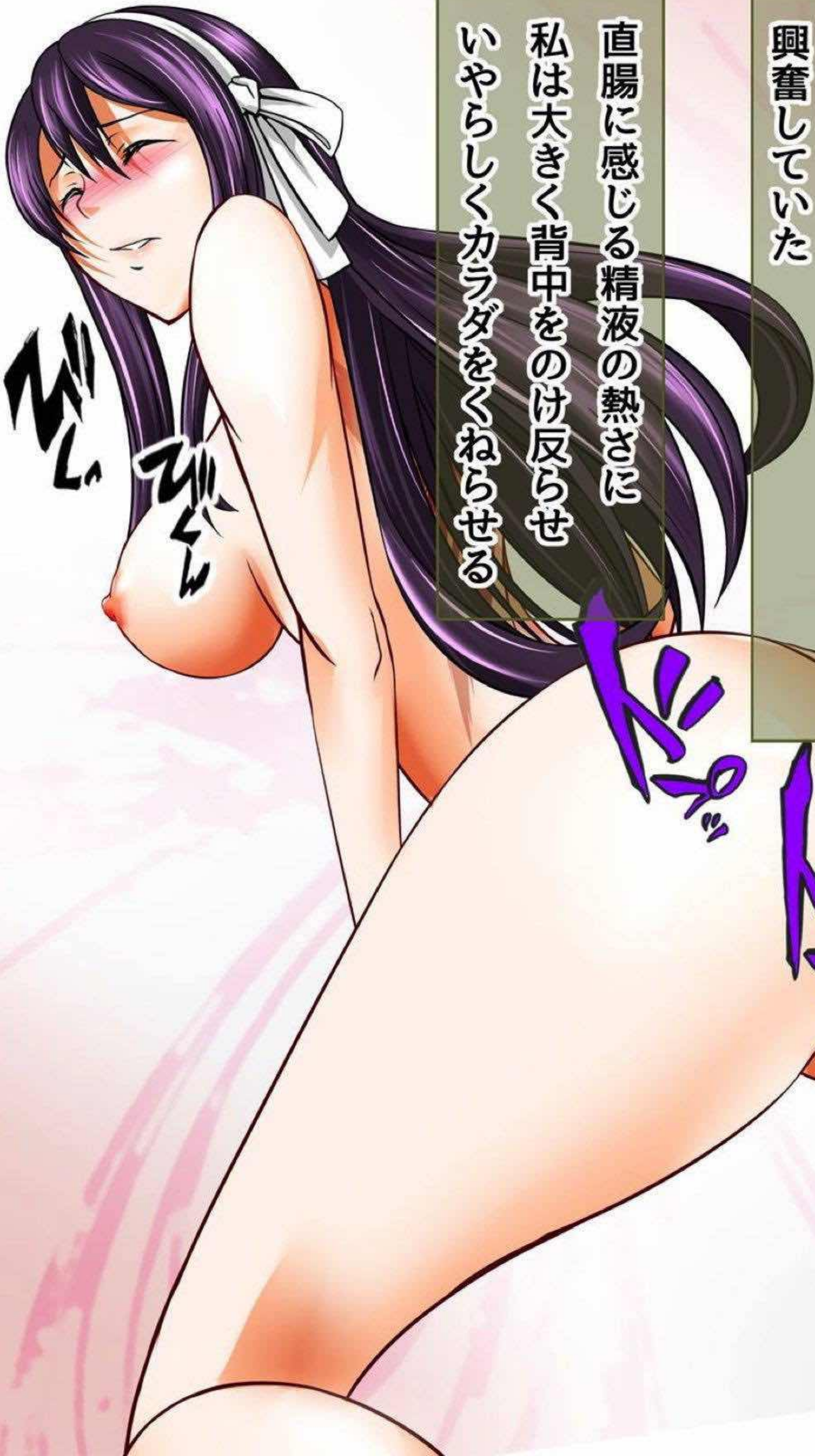


おもわず嬌声をあげてしまう私を  
男たちがニヤニヤと見下ろしている  
股間を膨らませて  
私を犯す順番を待っているのだ



乱暴にモノのように扱われることで  
私はこれまで体験したことが無いほど  
興奮していた


直腸に感じる精液の熱さに  
私は大きく背中をのけ反らせ  
いやらしくカラダをくねらせる



前も後ろも次々と男たちの精液が流し込まれ  
私は咽び泣いた

もう私のカラダはこの快感を忘れない・・・  
贖罪という名のセックスを淫靡にむさぼり  
悦びに涙を流す・・・  
私は・・・「魔女の罪」を重ねる・・・

あ...

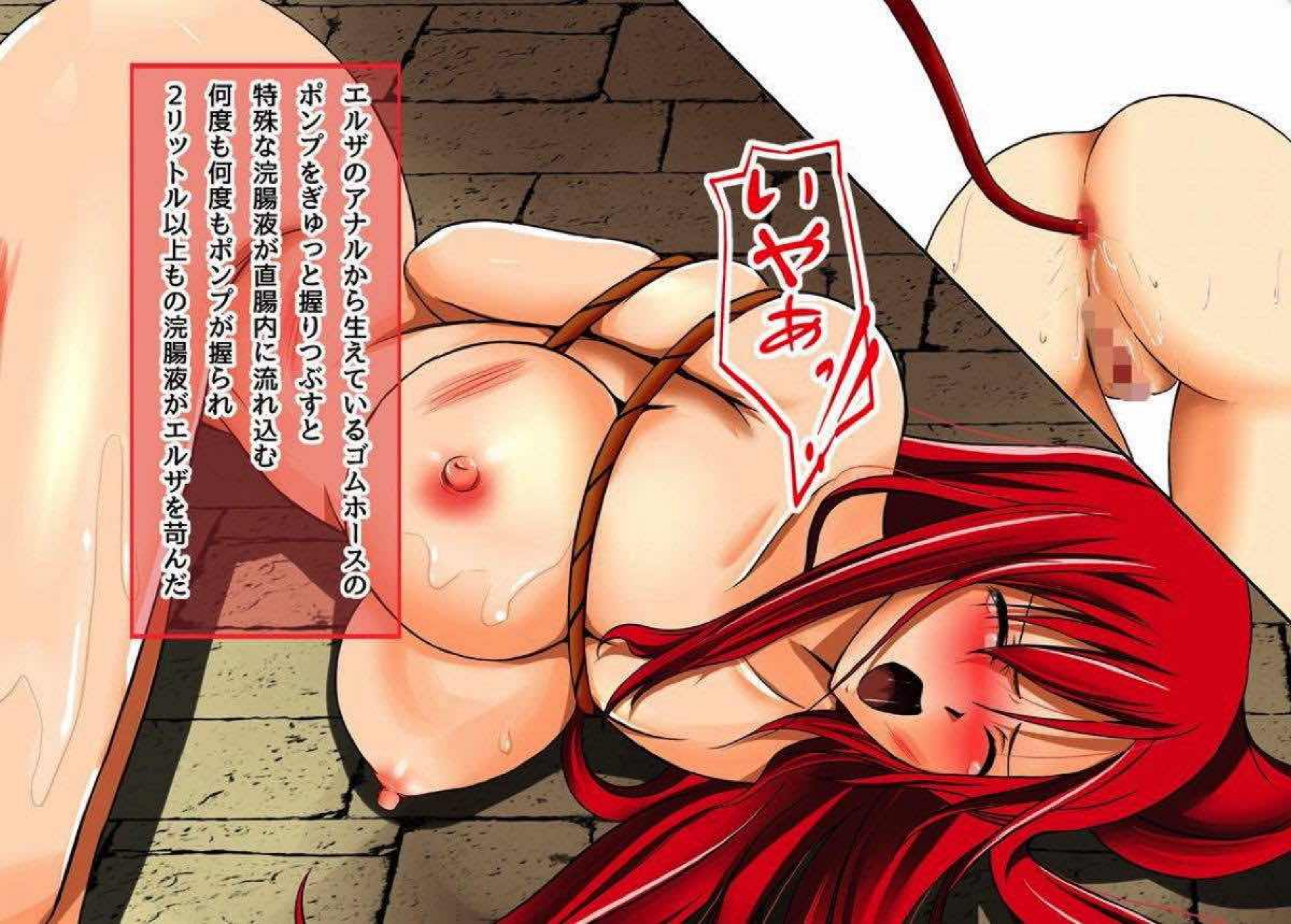


気がつくくとエルザは全裸で  
後ろ手に縛られていた  
胸が搾り出されて強調され  
美しい肉体をよりいつそう際立たせる  
エルザは抵抗の一切を封じられたまま  
執拗にエネマ責めを受け続けていた



いやあ

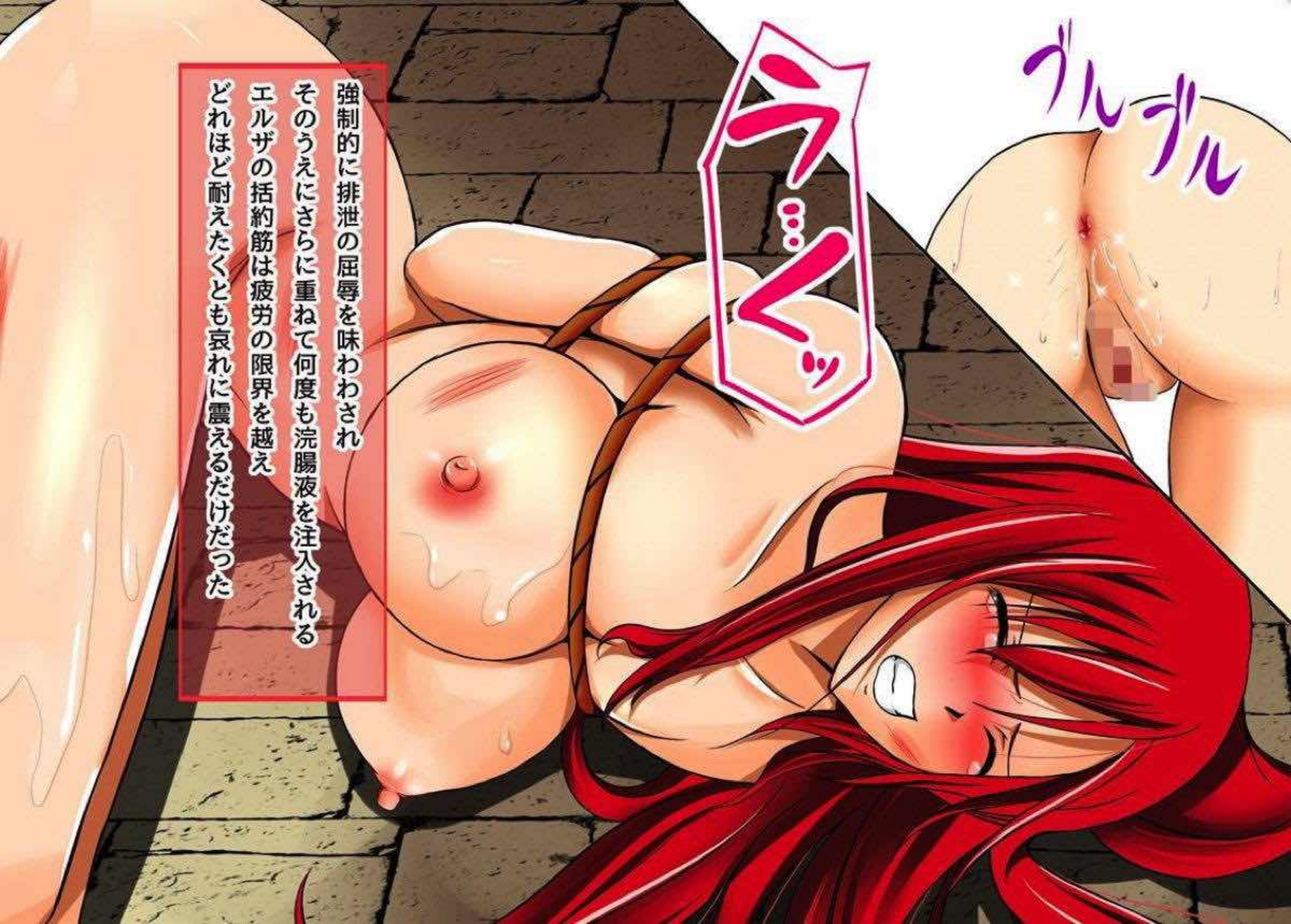
エルザのアナルから生えているゴムホースの  
ポンプをぎゅっと握りつぶすと  
特殊な浣腸液が直腸内に流れ込む  
何度も何度もポンプが握られ  
2リットル以上もの浣腸液がエルザを苛んだ



強制的に排泄の屈辱を味わわされ  
そのうえにさらに重ねて何度も浣腸液を注入される  
エルザの括約筋は疲労の限界を越え  
どれほど耐えたくとも哀れに震えるだけだった

ク  
ッ  
ッ  
ッ

グルグル



カピカピ

カピカピ

はあッ  
あッ


エルザの腸内に注入される特殊な浣腸液は  
エルザの魔力と反応してシリコン状の便のように固まり  
腸壁を刺激しながら排泄される

2メートル以上も続くシリコン便の排泄が終わるまで  
エルザの尻穴は閉じる暇も与えられない  
ひらきっ放しの肛門が感度が極限まで高まり  
何度も繰り返されるおぞましいアナルの絶頂が  
脳を犯した

くっぴあ♡

永遠に続くかのような排泄の絶頂のあと  
エルザの尻穴は まださもしく快感を求めて  
ぱつくりと口をひらいたままよだれをたらし続ける

エルザが待ちわびる次の浣腸液が用意され  
ホースがエルザの肛門に奥深く差し込まれる  
執拗に繰り返され覚えこまされる尻穴の快楽



浣腸と排泄の快楽なしではもう一時たりとも  
いられないカラダになった  
淫乱に浣腸をオネダリし繰り返される排泄に  
悦びの涙を流す  
時にはあえて浣腸をしてもらえず放置され  
満たされないアナルの欲望に悶える

四六時中発情しきつたエルザのアナルは  
ドロリと淫らな腸液を垂れ流し続けていた















娘の名乗りをしてから  
お父さんとあたしが男と女の関係に  
なるのに時間はかからなかった



毎晩 実の父親の前で裸体を晒す  
あたしたちの関係は  
主と牝奴隷になっていった

あたしの若い肉体は  
マゾの悦びを教え込まれていく



悪い子だカナ……  
お前はコーネリアと同じ  
淫乱なマゾ犬だ

いや……  
お母さんと比べないで……

彼はあたしを縛るのを好む  
そしていつもお母さんと比べて  
あたしの反応を見ては愉しむのだ



実の父親に胸を揉みしだかれ  
いやらしく隆起した乳首を弄ばれる  
カラダに電量が走った



んんんんん

あ♡

愛する男の精液を全身に浴びて  
アソコが疼く・・・熱い・・・

はあ...  
はあ...

ねえ早く・・・  
早くあたしにもお父さんの  
赤ちやん生ませて・・・♥



















ギルドの皆と別れたあと

私はいつもの場所へひとりで行かう

もう一つの私の居場所へと……

ここで私は彼女たちに本当の自分を  
暴かれていく

誰にも知られていない私の秘密……  
机に手をついて服従の姿勢をとる  
胸が……高鳴るのを感じていた





エルザ ちゃんと言いつけは  
守っておるようだな  
尻穴から妖精の尻尾が見えておるぞ  
くくく

んっ♡  
んっ♡  
んっ♡

いっこだけ  
自力でひり出してみろ！  
練習したようにな

はい  
はい

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡



んん  
はは  
はは

あはは  
出た出た!

よしよし よくできたな  
あとは手伝ってやる

カッパ...カ...

カッパ...



ほうれ  
また派手にイクがよいぞ♡

Whw

ア

♡♡♡♡♡

んまおまおまおまー!

トミタスノミナモト♡ニ



いつ見てもいやらしい  
アナルよの  
パツクリひらいて  
おねだりしておる

ぐいばっ♡

せー  
せー

すっかりアナルで絶頂する  
ことも覚えたようだな

妖精女王 ♡



はい…  
はい…

ドキドキ  
ドキドキ

じやあお待ちかねの  
アナル拡張のお時間だ  
うれしいかエルザ

ビク  
ビク



ほれ ケツの中で  
バルーンが膨らんで  
最高の快感であろう

ひ…ひっ  
お尻の中がひんが…

広がるっ  
お腹が…うあっ!

こっちのポンプはエルザの  
好きな浣腸だ  
バルーンで塞いでいるから  
安心してたっぷり注入され  
るといい



さすがは妾が見込んだマゾアナル  
もう何リットル入ったのかわからぬわ

も…  
もう入らな…

いっひい…♡！

ぽんぽんぽんぽん  
ぽんぽんぽんぽん

ふふふ  
そろそろバルーンを  
抜いてほしい？



あがあ！  
出るう！





くくく  
ケツの中で腸壁が  
ひくひく動いておる

いや……あ

お尻の中  
いじりなごうぞえ

お尻が♡

肛門が♡

すごい♡  
もう人間の肛門  
ではないな!

ハハハ

妾がこのモノ欲しそうな

ケツの中を直接可愛がってくれよう

ぬりゅる

ニクニク

ぐひいー!

クワ...

ゆるゆるではないか  
これならもう一本入る  
かもな

























わーん

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ



カ...

カ...



ニ  
キ  
ー



あゝあゝ  
は

ジュジュ

クニクニ





おっぱい

ズル

ズル

女体



あゝあゝ

あゝあゝ

んんんん

んんんん



おっぱい

おっぱい♡

おっぱい

おっぱい



キミのせいで...うっ  
きゅん...きゅん...  
きゅん...きゅん...

あーいっ

びびっ

M

M

俺たちシャドウ・ギアにアイドル

レヴィは俺たちの姫だった

ところが最近はおガジルの野郎とばかりベツタリだ

挙句にっいにシャドウ・ギアを解散したいと言ってきた

俺たちは……





俺たちはレヴィにもう一度、

レヴィは俺たちのモノだということを

わからせることにした

ヤバイ...

がたがた

^^.....  
ずっとこうして抱きたかったんだぜ  
お前をあんな鉄くずやろうに渡しやしねえ



イヤッ!!

たっぷり可愛がってやるからよ

そりゃ!

おおお

たまんねー!!

お





あああ...

うるせーな  
お前はケツの穴でも使ってるって！

あははは

お・・・おい！  
俺にもやらせろよ！



いまま  
てい

あ  
あ  
あ

あ  
あ

それもそうだ・・・な！

ゴリっ！

っうおー！すっげー締めつけるぜ

やっぱオマ○コとは締めまりがちがうぜー！！

ああああ

おおお！俺も出すぞ！  
レヴィのケツ穴にザーメン出すぞ！

おー出る出るー！  
すっげーレヴィのま○こ最高だぜ！

おの  
おの

ビク ビク

ズ  
ン





>>>...

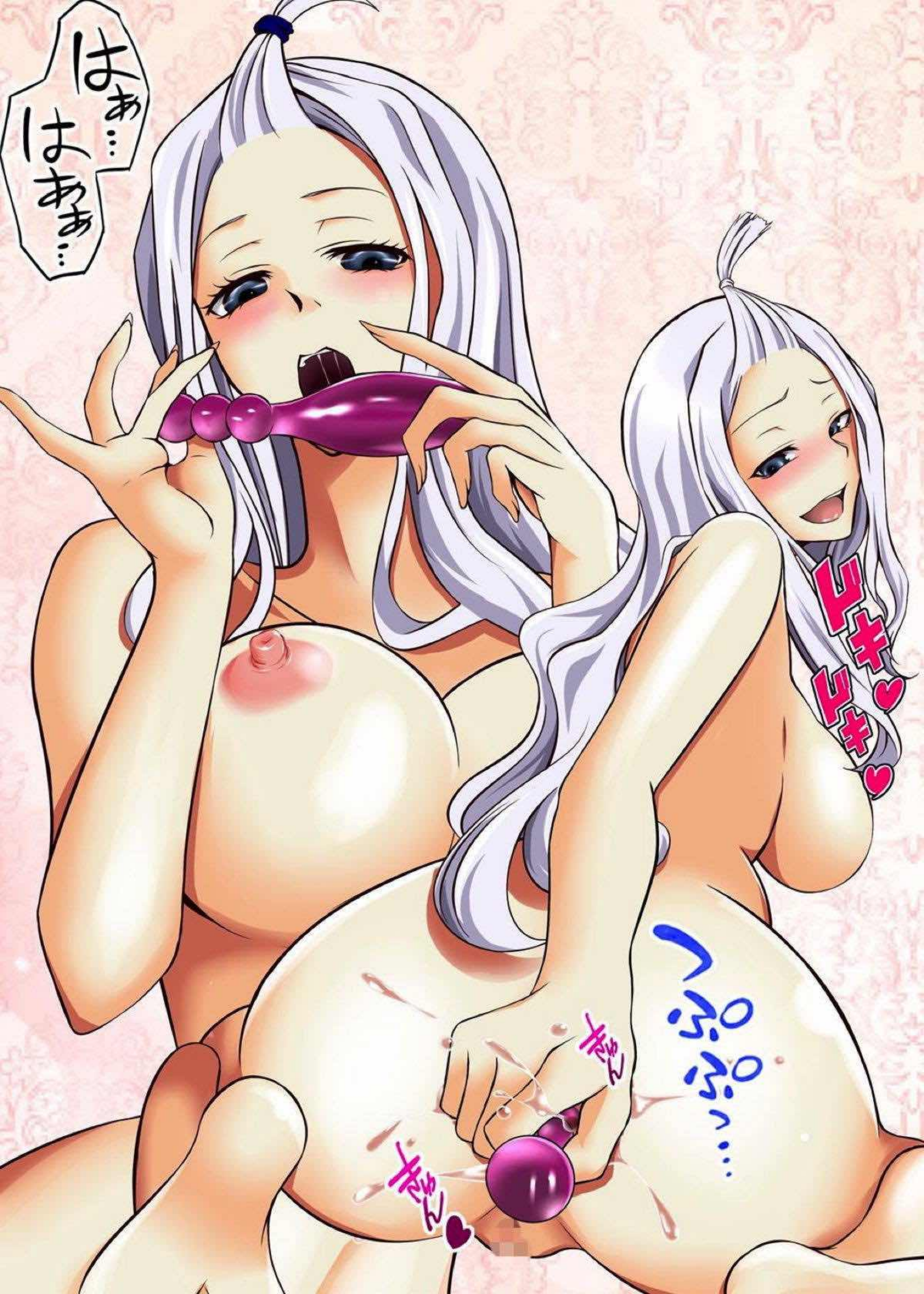
二度と俺たちから離れられねーように

これから毎日たっぷり仕込んでやるぜ



身体中にザーメン臭が染み付いて  
ガジルの野郎が逃げ出すくらいに  
ザーメン漬けにしてやる

楽しくなりそうだ



あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...



ほあ  
あ  
あ  
あ

お...お尻いっ...  
はあっ イっ...  
お♡  
おおお...っ♡

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...



あぁ...駄目...  
あたしのあつあつなツンツン  
まんこにぶくぶくをならせたいわ  
あつあつあつあつ♡  
ほっ...を♡  
誰でもいいから愛撫女のツンツンして♡

ムクムク...

ムク...

ムク...